

平成29年度第1回
ふくしまME基礎コース説明会

- ①10月 2日 (火) 11:00~12:00 いわき建設会館 5階
- ②10月 4日 (水) 14:00~15:00 郡山ユラックス熱海 2階
- ③10月 5日 (木) 14:00~15:00 コラッセふくしま 4階
- ④10月10日 (火) 10:00~11:00 会津アピオ 1階

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

<http://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

次 第

- 1、県内における社会インフラの現況と課題
説明者：福島県土木部土木企画課

- 2、協議会の設立趣旨
説明者：福島県土木部土木企画課

- 3、技術者育成レベル
説明者：福島県土木部土木企画課

- 4、平成29年度第1回「ふくしまME基礎コース」募集要項
説明者：ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局

- 5、質疑応答

社会インフラの現況

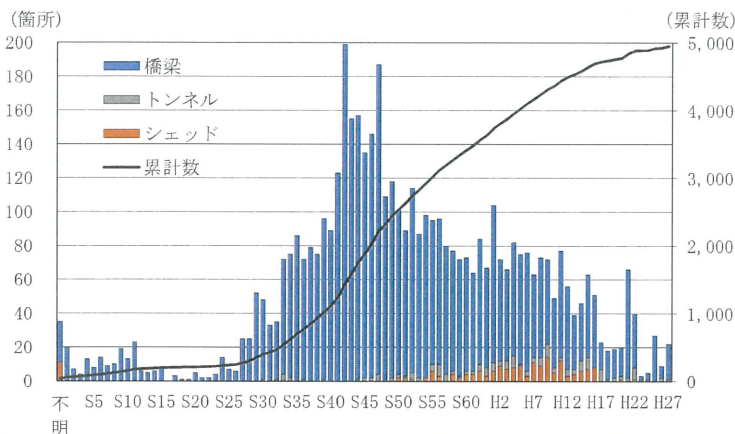
<背景>

高度経済成長期に整備された橋梁やトンネル等の社会インフラの老朽化が進み、社会インフラ更新時期の本格的到来に備えた対応が、全国的な課題となっている。

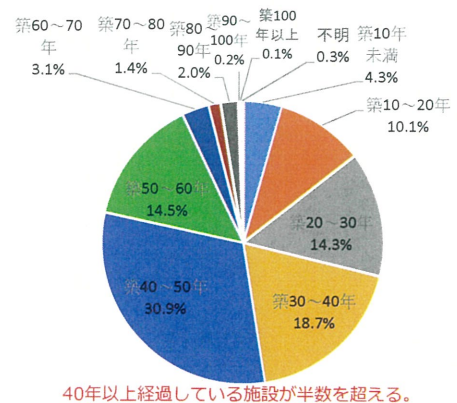


道路施設(福島県管理分のみ)の現況

【道路施設の建設年度ごとの施設数推移(H28.3現在)】



【道路施設の経過年数ごとの割合(H28.3現在)】



40年以上経過している施設が半数を超える。

福島県内における社会インフラの現況

福島県内の主な土木施設(全管理者分)

施設名	単位	管理施設数					出典
		計	内 訳				
			国	県	市町村	高速	
道路	km	39,153.1	492.6	5,619.2	32,647.2	394.1	道路統計年報2016 (国土交通省)
橋梁	橋	18,171	912	4,317	12,189	753	平成28年度 第2回福島県 道路メンテナンス会議 (東北地方整備局)
トンネル	箇所	241	35	154	25	27	平成28年度 第2回福島県 道路メンテナンス会議 (東北地方整備局)
道路付属物 (シェッド、歩道橋、 門型標識等)	箇所	866	183	419	65	199	平成28年度 第2回福島県 道路メンテナンス会議 (東北地方整備局)
河川	km	5,443.2	222.5	4,605.7	615.0	—	平成27年度 国土交通白書 (国土交通省)

福島県の面積が広く、多くの社会インフラを管理しており、維持修繕を実施するための点検・診断技術等を有する土木技術者が相当数必要となる。

また、日常的な維持管理や災害時の対応は、産業界と行政機関が連携して実施することが重要であるため、行政職員に関しても維持管理技術の習得が必要となる。



福島県内における社会インフラに関する課題

<土木技術者の責務>

社会インフラは豊かな地域生活の実現、安全の確保、環境の保全等に寄与するため、維持修繕を実施し、将来にわたり安全なインフラサービスを継続的に提供する。

維持修繕に対する産・学・官それぞれの思い

【産業界】

専門分野だけではなく、横断的な知識や技術が必要となる。

【学識】

限られた予算や人材の有効活用を産学官が一体となり検討する必要がある。

【官公庁】

維持修繕は限られた予算の中で、効率的及び効果的に進めなくてはならない。

<県内での課題>

「県民の安全・安心を第一」に、「地域のインフラは、地域自らが守る」という認識は産学官共通であり、今後、安定的に適切な維持修繕(メンテナンス)を実施する必要があるが、維持修繕に必要な点検・診断技術等を有する土木技術者が不足しており、その人材の確保・育成が急務となる。

技術者不足という喫緊の課題を解消するために、『ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会』を設立し産学官それぞれのノウハウを活かした技術者の育成に取り組む。

経過概要 (今後の予定含む)

H29.1.12 県建設業審議会による「今後の県内建設業のあり方」の答申
学から県へ産学官連携によるメンテナンスに係る技術者育成の要請

- ・インフラメンテナンス技術者の育成・確保に関する産学官連携強化を答申へ明記
- ・要請に対し県土木部として、産学官連携による枠組み作りを積極的に取り組むと回答

H29.2.23 第1回 産学官連携による技術者育成に関する意見交換会

- ・技術者育成のための共通スキームの構築について合意

H29.3.27 第2回 産学官連携による技術者育成に関する意見交換会

- ・産学官連携による協議会の設立について合意

H29.3.27 ふくしま建設業振興プランの策定

- ・産学官連携によるインフラメンテナンス技術者育成を明記

H29.5.17 協議会設立準備会

- ・技術者育成の方針及び協議会の体制について合意

H29.7.11 『ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会』 設立

- ・メンテナンス技術者の育成を目的として、産学官が連携する組織を設立

H29.9.15 第2回ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 開催

- ・ME育成講座「ふくしまME基礎コース」のH29開催を決定

H29.10.10 平成29年度 第1回 ME育成講座「ふくしまME基礎コース」 説明会

- ・行政職員及び建設関連従事者へME育成講座の周知を目的として開催

H29.11.10 平成29年度 第1回 ME育成講座「ふくしまME基礎コース」 開催

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 設立趣意書

社会インフラは、豊かな国民生活の実現及びその安全と安心の確保、環境の保全、自立的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与する国民共有の貴重な財産である。

これら社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備されたことから、今後急速に高齢化が進み、その維持・修繕、更新の重要性、緊急性が全国的に叫ばれている。

さらに、昨年11月28日には、産学官民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組むとともに、その理念の普及を図り、もって活力ある社会の維持に寄与することを目的として、政府が「インフラメンテナンス国民会議」を設立したところである。

このように、本格的な社会インフラの維持管理・更新時代を迎える中、建設産業全体の技術者、とりわけ維持・修繕分野においては、行政を始め、地域の建設業や測量設計業等に携わるメンテナンス技術者の人材不足が深刻な問題となっている。

また、限られた予算と様々な人的資源を有効に活用しながら、社会インフラの品質を確保し、かつ住民サービスの最大化とそれに伴う地域の活性化に寄与し、貢献できるメンテナンス技術者の確保が求められている。

このため、「県民の安全と安心を第一」に、「地域のインフラは、地域自らが守る」の考えの下、福島県の地域特性を踏まえながら、橋梁、トンネル、舗装、斜面、河川構造物等、社会インフラ全般に係る各種点検やメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有し、社会インフラマネジメントの中核となる技術者を安定的に育成することを目的として、産学官連携による「ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会」を設立するものである。

平成29年7月11日

福島県における維持管理に係る技術者育成レベル(案)

マネジメント技術者の育成

- 総合的な維持管理計画を立案できる人
- ※総合的な維持管理計画を立案できるレベルを目指す
- ※資格制度のあり方について今後検討する

今後、あり方について検討

(仮称)

ふくしまMMRコース

MMR※2
育成プログラム

ME技術者の育成

構造物診断士
(日本構造物診断技術協会)

コンクリート診断士
(コンクリート工学会)

1級土木技術者
(土木学会)

既存の国登録民間資格

- 点検計画立案、健全度診断ができる人
- ※高度な知識を有し、劣化状況等を的確に診断できるレベルを目指す
- ※既存の資格取得を促すとともに、福島県独自の資格制度を検討する
- ※今後、5年程度で必要数の育成を目指す

ME(基礎)技術者の育成

- 基本的な診断知識を有し、点検作業ができる人
- ※構造物に係る基礎的な知識、及び維持管理の基礎的事項を習得する
- ※基本的な診断ができる知識を習得する
- ※今後、3年程度で約500人の育成を目指す
- ※**第1回目の育成講座を開催(H29.11下旬~12下旬)**

本協議会で
育成プログラムを検討

(仮称)

ふくしまMEコース
(保安、防災)

ふくしまME基礎コース

ME※1育成プログラム

育成者数

※1:「メンテナンス・エキスパート」「構造物等の維持管理に関する高度な知識を持ち、劣化状態等を的確に診断し対処できる技術者を意味する。
※2:「メンテナンス・マネージャー」「構造物等の維持・修繕に関する日常的管理や、保全計画の策定等ができる技術者を意味する。」

ME 育成講座 平成29年度 第1回

「ふくしまME基礎コース」募集要項

- ・ 申請書受付期間：平成29年10月2日（月）～平成29年10月20日（金）
- ・ 受講者選抜結果通知発送：平成29年11月2日（木）
- ・ 受講料払込期間：平成29年11月6日（月）～平成29年11月14日（火）
（ 期 日 厳 守 ）
- ・ 実 施 場 所：日本大学工学部（福島県郡山市田村町）
なお、現場実習は、福島県郡山市内において実施。
- ・ 育 成 講 座：1週目 平成29年11月24日（金）
2週目 平成29年12月 1日（金）
3週目 平成29年12月 8日（金）
4週目 平成29年12月15日（金）
5週目 平成29年12月22日（金）
- ・ 認 定 試 験：平成29年12月23日（土）
- ・ 認定試験合格者決定：平成30年2月上旬

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

ME 育成講座の目的と意義

社会インフラは、豊かな国民生活の実現及び自立的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与する国民共通の貴重な財産であります。

これら社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後急速に老朽化が進むことから、その維持・修繕、更新の必要性、緊急性が全国的に課題となっております。

他方、本格的な社会インフラの維持管理・更新時代を迎える中、維持・修繕分野においては、行政を始め、地域の建設業やコンサルタントに携わるメンテナンス技術者の人材不足が深刻な問題となっております。

このような中、本年1月12日「福島県建設業審議会」の答申において、「インフラメンテナンス技術者育成・確保に関する産学官による連携強化」について明記され、インフラメンテナンス技術者育成に積極的に取り組む必要があることが報告されました。

このため、「地域のインフラは、地域自らが守る」考えの下、福島県の地域特性を把握するとともに、橋梁、トンネル、舗装、斜面、河川構造物、防災施設等、社会インフラ全般に係る各種点検やメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有し、社会インフラマネジメントの中核となる技術者を安定的に育成することを目的として、研修を実施するものであります。

なお、本協議会では今後、今回の基礎コースの他に、さらに高度な知識を有し、点検計画立案、健全度診断ができる技術者の育成講座も開催する予定であり、基礎から応用にわたり多くの技術者の育成に取り組むことにより社会インフラの品質確保に努め、県民の安全・安心に貢献していくこととしております。

ME 育成講座「ふくしまME基礎コース」の概要

ME 育成講座「ふくしまME基礎コース」の講義内容は以下のとおりです。週1回×5日間（講座）と半日間（認定試験）の5.5日間で構成され、講座から認定試験までを一貫して行います。なお、講座のみ受講することは原則として認めません。講座では社会インフラに関する共通事項の他、防災、橋梁・構造物の保全について講習し、現場では実際に構造物の点検実習を行います。6日目には認定試験として、筆記試験を行います。実施場所は、日本大学工学部です。今年度のカリキュラム及び講師等は別表（P 6）を参照してください。

- 1 週目：概説、共通事項、斜面崩壊・落石の概論、点検と防護の基礎
 - 2 週目：盛土・基礎地盤の崩壊・変形の概論、盛土・基礎地盤の点検基礎と対策、舗装維持管理の基礎、トンネル維持管理の基礎
 - 3 週目：構造力学/鋼橋の基本、コンクリート橋の基礎、橋梁メンテナンスの概論と福島県橋梁管理の基礎、部材劣化の基礎
 - 4 週目：コンクリート橋の損傷、鋼橋の損傷、点検・診断の基本
 - 5 週目：補修事例橋梁の実習、意見交換会
- ” ：認定試験

ME育成講座 平成29年度 第1回
「ふくしまME基礎コース」の募集内容

1. 募集人員

100名

2. 受講費用等

受講料（受験料含む） 100,000円

（ただし、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会に参画する団体又は行政機関に属する者は、50,000円とする。）

なお、受講者決定通知後に参加を取消した場合、育成講座の途中で欠席となった場合でも受講料は返還いたしません。

3. 受講資格

受講申請者は、下記のいずれかに該当する必要があります。

(1) 官公庁土木技術者等（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会インフラの維持管理又は整備に関し2年以上の実務経験を有する者。

(2) 民間建設関連業土木技術者

① コンサル担当業務

社会インフラの調査、測量又は設計に関し2年以上の実務経験を有する者。

② 施工業務

社会インフラの施工又は管理に関し2年以上の実務経験を有する者。

③ その他

上記①、又は②と同等と認められる者。

(3) 現在の所属機関のみでは(1)又は(2)の要件を満たしていない土木技術者等
複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の経験を2年以上有する者。

4. 受講申請手続き

(ア) 申請期間

平成29年10月2日（月） ～ 平成29年10月20日（金）

(イ) 提出方法

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局まで、必ず「簡易書留」にて、上記の申請期間内に「必着」で送付すること。なお、封筒の表面の左下隅に「申請書類在中」と朱書きすること。

(ウ) 提出書類

① 受講申込書

官公庁土木技術者等、民間建設関連業土木技術者とも、（様式1）に記入。

② 証明写真2枚

申請3ヵ月以内に撮影した顔写真、無帽、正面向きの縦4.5cm、横3.5cmのもの。2枚とも写真裏面に氏名を記入し、うち1枚は上記①の申請書(様式1)に貼付し、もう1枚は糊付けせず申請書にクリップで留めてそのまま提出(ポラロイド、カラーコピー不可)。

③ 実務経歴書

ア 官公庁土木技術者等

受講資格を確認するため、(様式2)に記入。

なお、自分より上位の管理職の職名・氏名を記入し、押印したものを提出すること。

イ 民間建設関連業土木技術者

受講資格を確認するため、(様式3)に記入。

なお、現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印したものを提出すること。

また、受講資格を満たすため現在の所属企業以外での実務経歴も必要な場合には、旧所属企業分についても(様式3)により旧所属の会社名、代表者名を記入し、旧所属の代表者印を押印したものを併せて提出すること。

(注)個人及び事業主の方が、自分で自分の経歴を証明することは出来ません。

第三者(組合や元請け又は同業者等)から、証明を頂いてください。

(エ) 郵送提出先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号(福島県建設センター6階)

(一社)福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

5. 受講者の選抜

(ア) 選抜方法

受講申請書類に基づき厳正に審査し、ふくしまME基礎コースの受講者を選抜します。

なお、応募者多数の場合は、応募者の所属先、地域性を考慮して、受講者を選抜します。

(イ) 選抜結果の通知

平成29年11月2日(木)までに、選抜結果の通知書を本人宛に発送します。

なお、この日より1週間を経過しても選抜結果通知書が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

(注)受講決定通知後、期日までに受講料の入金がない場合には、受講できませんのでご注意願います(受講料納付方法については、受講者選抜結果通知の際にお知らせします)。

6. 個人情報の取扱い

提出された申込書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局が責任をもって管理します。

7. 受講修了、認定等について

(1) 受講修了証の交付

ME育成講座「ふくしまME基礎コース」の全課程を受講したと認められる者に対し、受講修了証を交付します。

(注) レポート課題等の未提出が一部でもあった場合や、遅刻、欠席が一部でもあった場合には、原則として受講修了証は交付されず、認定試験を受けることができません。

なお、ME育成講座では認定試験の受験を必須としていますが、不可避の理由により受験できない者には、受験料の5,000円を返金します。

(2) 認定証の交付

ME育成講座「ふくしまME基礎コース」の受講修了証を交付された者に対し認定試験を行い、審査委員会、協議会の審議を経て、合格した者には認定証を交付します。

なお、認定証の有効期間は、交付日より5年間（更新制）とします。

(3) 再認定試験

(2)の認定試験において不合格となった者及び受講修了証の交付を受け受験できなかった者は、次回に開催されるME育成講座「ふくしまME基礎コース」の認定試験を、同講座の受講を免除の上、一度のみ受験することができます。

なお、受験料は5,000円とします。

8. CPDプログラムについて

本育成講座はCPD（公益社団法人土木学会）、CPDS（一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会）プログラムの認定対象予定講習です。

9. その他

(1) 平成30年度にも、「ふくしまME基礎コース」の講座を2回開催する予定です。

(2) 平成30年度には、「ふくしまMEコース（仮称）」の講座開設を予定しています。

10. 問合せ先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

（一社）福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

TEL 024-563-1321 又は 024-523-1728

平成29年度 「ふくしまME基礎コース」実施スケジュール

別表

	研修教室	講義時間	講	義	内	容	講	師
1 週目 11月24日(金) 概説、 共通、 防災	5 4号館	10:00～10:30	共-1	ME研修の意義、実施要領説明			中村会長、福島県、事務局	
		10:40～12:00	共-2	福島県の社会基盤施設の維持管理概要			福島県	
	5411教室	13:00～14:30	共-3	福島県の地形・地質			(一社)福島県地質調査業協会 (主)小澤義史 (副)鈴木克久	
		14:40～15:35	防-1	斜面崩壊・落石の概論			日本大学工学部 中村晋教授	
		15:45～17:15	防-2	点検と防護の基礎			(公社)日本技術士会東北本部福島県支部 (主)小沼千香四 (副)畠良一	
2 週目 12月1日(金) 防災、 保全；構造	5 4号館 5411教室	9:20～10:20	防-3	盛土・基礎地盤の崩壊・変形の概論			日本大学工学部 仙頭紀明准教授	
		10:30～12:00	防-4	盛土・基礎地盤の点検基礎と対策			(公社)日本技術士会東北本部福島県支部 (主)黒森伸夫 (副)畠良一	
		13:00～14:30	保構-1	舗装維持管理の基礎			インフラ長寿命化研究会 荒井明夫	
		14:40～16:10	保構-2	トンネル維持管理の基礎			(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部 尾崎裕司	
3 週目 12月8日(金) 保全；橋梁	6 2号館 6232教室	9:00～10:30	保橋-1	構造力学/鋼橋の基礎			日本大学工学部 笠野英行専任講師	
		10:40～12:10	保橋-2	コンクリート橋の基礎			日本大学工学部 子田康弘准教授	
		13:00～14:30	保橋-3	橋梁メンテナンスの概論と福島県橋梁管理の基礎			日本大学工学部 岩城一郎教授	
		14:40～17:00	保橋-4	部材劣化の基礎			インフラ長寿命化研究会 新銀武	
4 週目 12月15日(金) 保全；橋梁	6 2号館 6232教室	9:00～10:30	保橋-5	コンクリート橋の損傷			インフラ長寿命化研究会 神永秀明	
		10:40～12:10	保橋-6	鋼橋の損傷			インフラ長寿命化研究会 小室浩	
		13:00～16:00	保橋-7	点検・診断の基礎			インフラ長寿命化研究会 高橋明彦	
5 週目 12月22日(金) 保全；橋梁	6 2号館 6232教室 なお、実習 は郡山市内	9:00～12:00	A 班	補修事例橋梁の実習			日本大学工学部 子田康弘准教授、笠野 英行専任講師 / インフラ長寿命化研究会 新銀武・高橋 明彦・小室浩・神永秀明 他	
		13:00～15:00		意見交換会				
		12:00～15:00	B 班	補修事例橋梁の実習				
		16:00～18:00		意見交換会				
5 週目 12月23日(土)	6 2号館 6232教室	10:00～12:00	認定試験					

(様式1)

ME育成講座 平成29年度第1回「ふくしまME基礎コース」受講申込書

申込み年月日 平成 年 月 日

写真を貼る
H：4.5cm
W：3.5cm
※顔写真
※裏面に氏名を記入し、
全面糊付けのこと

フリガナ 氏 名			印
生年月日	昭和・平成 年 月 日(満 歳)		
現 住 所	〒 -		
電 話 番 号	TEL:	携帯:	
勤 務 先			
勤 務 先 住 所	〒 -		
	TEL:	FAX:	
連絡先 E-Mail			
勤務先の所属団体名	①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法面保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨() ※該当する番号に○を付すこと。その他の場合は、具体名を記すこと。		
最 終 学 歴	年 月	学 校 ・ 学 部 ・ 学 科	
	S・H 年 月		
職 歴	年 月	所 属	
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
関 係 す る 公 的 資 格	年 月	名 称 (登 録 番 号 等)	
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		

(様式2)

ME育成講座 平成29年度 第1回「ふくしまME基礎コース」

－ 実務経歴書 －

受講申込者氏名	
---------	--

◆ 主要な実務経歴書（官公庁土木技術者等の経験証明用） ◆

所属	職名（担当）	関係実務	勤務期間	
			～	年 カ月
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			※計	年 カ月

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日

役職名

氏名



※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。

(様式3)

ME育成講座 平成29年度 第1回「ふくしまME基礎コース」

－ 実務経歴書 －

受講申込者氏名	
---------	--

◆ 主要な実務経歴書（民間建設関連業土木技術者の経歴証明用） ◆

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
				～	年 月
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				※計	年 月

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日

会社名

代表者名 ㊟

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。

(様式1)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 平成29年度第1回「ふくしまME基礎コース」受講申込書

申込み年月日 平成 年 月 日

フリガナ 氏名	フクシマ タロウ 福島 太郎 (印)	※姓と名の間は一字空けること	写真を貼る H : 4.5cm W : 3.5cm ※顔写真 ※裏面に氏名を記入し、 全面糊付けのこと
生年月日	昭和平成 ○○年 ◆◆月 △△日 (満●●歳)		
現住所	〒000-0000 ○○市 △町 字 ○○○番地		
電話番号	TEL:000-0000-0000	携帯:090-0000-0000	
勤務先	(株)○○○○建設 △部 / 福島県○○建設事務所 △部 等 ※所属部名まで記入のこと。		
勤務先住所	〒000-0000 ○○市 ◆町 字 ●●●●番地 TEL:000-111-2222	FAX:000-333-4444	
連絡先 E-Mail	※メールアドレスを記入のこと		
勤務先の所属団体名	①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法面保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨() ※該当する番号に○を付すこと。その他の場合は、具体名を記すこと。		
最終学歴	年月	学校・学部・学科	
	S・H ●●年 ●●月	○○大学 ◆◆学部 △△科	
職歴	年月	所 属	
	S・H ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 採用	
	S・H ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課	
	S・H ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 主任	
S・H ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 課長		← ※現在の所属
関係する 公的資格	年月	名称 (登録番号等)	
	S・H ●●年 ●●月	二級土木施工管理技士(登録番号 No.00000)	
	S・H ●●年 ●●月	測量士補(登録番号 No.00000)	
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
	S・H 年 月		
※主なものを記入 記入欄が不足する場合は、行を追加して記入のこと。			

(様式2)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 平成29年度 第1回「ふくしまME基礎コース」

－ 実務経歴書 －

受講申込者氏名

◆ 主要な実務経歴書（官公庁土木技術者等の経験証明用） ◆

所属	職名（担当）	関係実務	勤務期間	
〇〇建設事務所〇〇部〇〇課	技師（設計・管理担当）	道路・河川管理	H〇.〇～H〇.〇	1年6ヵ月
土木部〇△課	副主査（管理担当）	河川管理	H〇.〇～H〇.〇	1年
土木部◆◆課	主査（管理担当）	道路管理	H〇.〇～H〇.〇	1年
<p>※ 重複期間を除いた合計2年以上の実務経歴を記入すること。 現職場のみでは実務経歴が2年以上とならない場合には、 従前の実務経歴を加えて記載すること。</p>				
<p>※自分より上位の管理職の役職名・氏名を記入し、押印する。</p>			※計 3 年 6 ヵ月	

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

役職名 〇 △ 課 長

氏 名 〇 〇 〇 〇 ⑩

(様式3)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 平成29年度 第1回「ふくしまME基礎コース」

－ 実務経歴書 －

受講申込者氏名

◆ 主要な実務経歴書（民間建設関連業土木技術者の経験証明用） ◆

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
平成〇年度 〇道路△法面施工業務	(株)〇〇建設	施工管理	〇建設事務所	H〇.〇～H〇.〇	8ヵ月
平成◆年度 〇橋桁補修業務	(株)〇〇建設	維持施工管理	△建設事務所	H〇.〇～H〇.〇	1年6ヵ月
平成△年度 〇道路◆舗装業務	(株)〇〇建設	施工管理	◆市役所	H〇.〇～H〇.〇	1年6ヵ月
<p>※ 現所属企業における重複期間を除いた合計2年以上の実務経歴を記入すること。 なお、受講資格を満たすため旧所属企業分の実務経歴書も併せて提出する必要がある場合は、この（様式3）を用いて旧所属企業における実務経歴書を作成し、<u>旧所属企業の会社名、代表者名を記入し、旧所属企業の代表者印が押印された実務経歴書を提出すること。</u></p>					
<p>※ 現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印する。</p>				※計 3 年 8 ヵ月	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

会社名 (株)〇〇建設

代表者名 〇 〇 〇 〇 ⑩

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。